

白山ふるさと文学賞

第八回 白山市ジュニア文芸賞 受賞作品

【暁烏敏部門】〈作文「母へのおもい」〉

小学生5・6年の部 最優秀賞

大好きなお母さん

松任小学校五年

鶴来 つるぎ

充希 あつき

ぼくのお母さんはだれよりもやさしい人です。家族や近所の人、仕事の人そして知らない人にもやさしくしています。算数の文章問題が分からなかったら

「文章に線を引きながら読んでみたら？落ちついて読めばできるよ。」など問題のヒントやアドバイスをくれて、いっしょに考えてくれます。ぼくがたん生日の日にはサプライズとしてかべにたん生日のかざりを作っては、おどろかせてくれます。

ある時、家の前で女の子が自転車で転んで泣いてしまいこまっていた兄妹を見つけたお母さんは、その子たちのところへかけよって

「大丈夫？」

と声をかけ、その女の子にばんそうこうをはってあげていました。泣いていたその子もすぐに泣きやんでパツと笑顔になりました。

そんなすがたを見て、周りの人を助けるといふことは、とてもすごいと思いました。

ぼくは気づいたらお母さんにありがとうと言っています。例えばおいしいごはんを作ってくれた時や、家の中をきれいにそうじしてくれた時です。その中でも一番感謝しているのは、学校であったことを聞いてくれることです。昼休みに友達と校庭でふえおにをしてたくさんつかまえられること、また、理科の授業で「プランクトン」とは何か考えた時、みんな

「スポンジボブに出てくるやつだ!!」

と言ったことなど、いつもぼくの話に耳をかたむけて大笑いしたり、喜んでくれてくれます。

前にはこんなことがありました。グループで調べ物をしていて、意見が合わず友達とぶつかった時、

「友達に伝える時にどのような言葉で伝えればよかった？」

とこれからどうしたらいいのかをいっしょに考えてくれました。お母さんに話したら心の中のモヤモヤがパツとなくなつてとてもスッキリした

気持ちになりました。そして「もう一度友達と話し合ってみよう」と勇気がわいてきました。

習いごとの陸上で練習がある日はいつも見えていてくれて、

「ぬき足をもっと前に！回転もつと上げてダッシュ！」

とたくさんのアドバイスをくれます。ぼくがやっているハードルの練習は、トラックにハードルをならべないといけません。お母さんは準備の時もかた付けの時もハードルを運ぶのを手伝ってくれます。自主トレーニングの時も付き合ってくれて、ミニハードルの長さはかた付けてくれたり、練習でも自主トレーニングでもたくさんのことを手伝ってくれます。

大会や記録会がある日は、朝早くからおべんとうを作ってくれます。本番になると、

「あつきー！」

と応援してくれて、その声を聞くとパワーがわいてくる気がします。ベストタイムが出なくても、

「次がんばってね！」

と言ってくれると、次の大会や記録会でももっといい走りができるようがんばろうと思えます。

お母さんは仕事でつかれて帰ってくる時がよくあります。それでもごはんを作ったり、そうじをしたり、洗たくしたり、いくつもの家事をしているお母さんを見るとすごいと思います。そんな中でぼくの話もたくさん聞いてくれます。だから、ぼくもできるお手伝いをしていきたいと思えます。自分で食べたものは自分で皿洗いしたり、洗たく物を自分で干すなどちよつとでもお母さんが楽になるようにしたいです。お母さんの時間をけずって、陸上の自主トレーニングや練習につきあってもらっているからこれからもつと集中してがんばりたいです。しよう来、ぼくのお母さんのようなやさしくて人の事を考えられる大人になりたいです。お母さんいつもありがとう。お母さん大好きだよ。